

平成16年2月期 第一級海上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

[1] 免許人が無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、総合通信局長（沖縄総合通信事務局長を含む。）に対して、どのようなことをしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を届け出る。
2. 書類の訂正を受ける。
3. あらかじめ指示を受けるのみでよい。
4. あらかじめ申請してその許可を受ける。

[2] 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）は、電源電圧が定格電圧の±何パーセント以内において変動した場合においても安定に動作するものでなければならないか、無線設備規則に定める値を次のうちから選べ。

1. 20 パーセント以内
2. 10 パーセント以内
3. 5 パーセント以内
4. 2 パーセント以内

[3] 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 通信室の見やすい箇所に掲げる。

[4] 無線局が臨時に電波の発射の停止を命ぜられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 暗語を使用して通信を行ったとき。

[5] 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行う検査では、何を検査するか、次のうちから選べ。

1. 送信装置の電源の変動率
2. 他の無線局の通信に与える混信の程度
3. 発射する電波の質又は空中線電力
4. 無線従事者の無線設備の操作の技能

[6] 電波法の規定により、無線局の免許人は、無線従事者を選任又は解任したときは、どのような手続をとらなければならないか、次のうちから選べ。

1. 遅滞なくその旨を届け出る。
2. 10日以内にその旨を報告する。
3. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
4. 1か月以内にその旨を届け出る。

法

規

〔7〕 次の文は、秘密の保護に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを してはならない。」

1. 記録
2. 窃用
3. 放送
4. 公表

〔8〕 次の文は、無線局の運用に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「海岸局又は船舶局は、他の船舶局から無線設備の機器の調整のための通信を求められたときは、 、これに応じなければならない。」

1. 支障のない限り
2. 責任者の許可を得て
3. 遭難通信を行っている場合を除き
4. 一切の通信を中止して

〔9〕 156.8MHz の周波数の電波が使用できるのは、次のどれか。

1. 操船援助のための通信を行う場合
2. 呼出し又は応答を行う場合
3. 電波の規正に関する通信を行う場合
4. 漁業通信を行う場合

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとするときは、遭難通信等を行う場合を除き、一定の周波数によって聴守し、他の通信に混信を与えないことを確かめなければならないが、この場合において聴守しなければならない周波数は、次のどれか。

1. 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数
2. 自局に指定されているすべての周波数
3. 自局の付近にある無線局において使用する電波の周波数
4. 他の既に行われている通信に使用されている周波数であって、最も感度の良いもの

〔11〕 遭難通報を受信した船舶局は、直ちに誰にその通報を通知しなければならないか、次のうちから選べ。

1. 通信長
2. 機関長
3. 一等航海士
4. その船舶の責任者

〔12〕 無線通信規則の規定では、移動局の無線電話による遭難呼出しの際に使用する「MAYDAY」の送信回数は何回と定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 1 回
2. 2 回
3. 3 回
4. 4 回